

■ 卒業おめでとうございます

3 年学年主任 室井 和廣

高校生活の 3 年が終了し、無事卒業式を迎えられた保護者の皆様方におかれましては喜びも一入かと存じ上げます。卒業おめでとうございます。

特に、この一年間は希望する進路実現に向け、ひたすら歩み続けた生徒達を誇りに思います。その結果、進学に関しては 2 名の国立大学合格者が出るなど、素晴らしい成果が得られました。一重に保護者の皆様のご協力と生徒たちの努力、関係の先生方や担任の先生方の努力の賜物と感謝しております。しかしながら、就職に関しては、例年に無く厳しい結果となり、やむなく進路変更をした生徒もおりました。頑張っているのに結果が出ない生徒の姿を見るにつけ、心の中で何とかならないかと叫んでいました。進路指導については、この後もバックアップをしていきますので、最後まで諦めないで欲しいと思います。

■平成 22 年度の進路報告

就職指導委員会から

平成 22 年度の就職状況は、求人数の減少、1 次試験の合格率の低下、2 次募集の減少等高校生を取り巻く環境は、非常に厳しい状況でした。しかし、生徒の努力はもとより学院側のバックアップ・政府の緊急雇用対策等が功を奏し、2 月末の内定率は 93% 台に達しました。未内定者については、引き続き関係機関と連携を取りながら指導してまいります。

1・2 年生の就職希望者においては、このような状況を踏まえ、自己研鑽に励んで欲しいと思います。

【主な就職先】

栃木県警察・神戸製鋼所・キャノン・日本たばこ産業・日立アプライアンス・古河スカイ・東京鐵鋼・栃木住友電工・ミツトヨ・興国インテック・NTT エムイー・京浜精密工業・平成アルミ・ネッツトヨタ栃木等

進学指導委員会から

平成 22 年度の情報科学部進学状況の特徴として、全体的に県内志向が強くなったように感じます。中でも、作新学院大学への希望が多く、2 月末時点で 38 名が合格を決めています。更に同大学の学業奨学生試験に挑む生徒も多く、適度な緊張感が続いています。

国公立大学入試においては、大きな収穫がありました。それは複数の合格者が生まれたこと。しかも、内 1 名は普通科総合選択コースから初の宇都宮大学への合格です。美術デザイン科の岩手大学合格とともに、賞賛したいと考えています。

専門学校は、確実に職業へ繋げるのでできる分野に人気が集まりました。募集枠が早く満たされた例として、「看護」「製菓・製パン」「自動車」などが挙げられます。2 月末現在の状況は、大学 78 名、短大 17 名、(作新短大 11 名)、専門学校に多数合格しております。

■国立大学に合格

宇都宮大学教育学部合格

普通科総合選択コース 3 年 1 組 増淵 葵

高校生活の 3 年間は、過ぎてみれば名残惜しい程あつという間で、自由度の高い時間だったように思います。私は検定取得に勤しんだり趣味を楽しんだり、自分が努力したいものに力を注ぐことができました。そんな私の支えは先生方と友達で、特に 3 年次では進路のことで何度も相談に乗っていただきました。不可能だと思い、当初考えもしなかった国立大学を受験し、合格することができたのも、恵まれた環境と人間関係のおかげです。

有意義で楽しかった学院を卒業するのは寂しいですが、3 年間の経験や体験を糧に努力していきます。

岩手大学教育学部合格

美術デザイン科 3 年 1 組 高橋 成人

この度、無事に進路を決めることができました。こうして自分の将来の夢へ、現状で最も良いと思われる方向へ舵をとることができたのも、両親、先生方や友人など、多くの方々の支えがあつてのことだと思います。この感謝の気持ちを何と表現したら良いのか。

岩手大学へ進学した後も、美術デザイン科で経験した様々な事を忘れずに、己の目標に向かって頑張っていきたいです。

この場を借りて、今一度！ どうもありがとうございました。

■1 年生で電気のハイレベル資格に合格

電気電子システム科 1 年 2 組 大橋 和也

私は今回、念願の第 1 種電気工事士に合格することができました。この試験を受けるに当たり、1 年生は一人しかいませんでした。周りがみな二年生の先輩方でしたので最初は不安でした。しかし先輩方が優しく面倒を見てくれて勉強に集中することができました。



(大橋は写真右の生徒です) 第一種電気工事士実技試験補習の様子

■クラス立案の校外学習から

普通科総合選択コース 1 年 4 組

お台場探索(メディア感覚体験)学習

2 月 10 日(金)、我ら F 1 年 4 組が 2 回目の校外学習で向かった先は「お台場」です。高速道路を通り、完成間近のスカイツリーを通過し、お台場に到着。フジテレビやアクアシティなど多くの見学地が立ち並ぶ現地では班別行動のため、到着した途端、思い思いの見学地へ出かけました。私たちの班は、まず国内最大の室内アトラクションのあるジョイポリスへ向かいましました。昼食にはカレーバイキングを食べ、その後、少し距離はありましたが、大観覧車のあるパレットタウンまで足を伸ばしました。



クラスで計画し、クラスだけで行える校外学習は、遠足とはまた違った魅力がたくさんありました。一年生最後の良い思い出になりました。

近田 勝己

ライフデザイン科 2 年 3 組

横浜みなとみらい探索学習

2 月 15 日(火)、私たちは横浜みなとみらいに行ってきました。年度始めからクラス立案の校外学習をぜひ実施しようということで計画し、予算も考え、毎月全員で僅かず積み立てをしてきました。内容についてはクラスで何度も相談をしました。班別行動となり、かなり自由度の高い校外学習となりました。

横浜に着くと、海と素晴らしい風景の街並み、魅力的な建造物が私達を待っていました。赤レンガ倉庫内のお店めぐりをし、その後中華街に出かけ、本場の中国料理を食べました。山下公園では海と氷川丸をバックに写真を撮り、すごく満足のできたクラス行事でした。



(氷川丸をバックに撮影)

瀬谷 深智

■小学部のスケート教室に参加して

-エッグステージプロジェクト活動-

児童たちと仲良くなれるか不安を抱えて参加した実習でしたが、滑走前の昼食の際に打ち解けることができ、楽しく実習に取り組むことができました。子どもたちは、みんな素直で一生懸命でした。だから、私達実習生も上手になってもらいたい一心で、一生懸命サポートしました。手をつなぎながら一緒に滑るうちに、全然滑ることができなかった子どもたちが、一人で往



(参加生徒の写真)

復できるようになったときは、見ている私たちが感激しました。実習に参加した高校生は、1・2 年生がほとんどだったので、来年も絶対参加しようと約束しました。

L1 年 1 組 櫻井 千尋

月井 梨奈

■教員紹介

「小さなことにも向き合う心を大切に」

「建付けが悪く、戸が重い」職員室の戸が長いことそのような状態でした。しかし、そんなことも毎日のことであると、気にも留めず、時間も過ぎていきます。あるとき、「これは正常な戸のすべりではない」と、戸を外し、戸についている戸車を確認された先生がいました。吐き捨てられたガムがそこに付いており、すべりを悪くしていたのです。その先生は戸車のガムを丁寧にとり、潤滑油をさし、レールをきれいに掃除し、戸をはめました。今までに感じたことのないすべりよさ。そのなめらかさにこちらの心持ちも大変軽くなりました。

たとえ、どんなに小さな問題でも正面から向き合う人がいると、ものが本来の働きを取り戻して、そこにいる人たちの生活もいきいきとしていきます。自らを反省しつつ、学び多き日となりました。

国語科 霧林 さとり 教諭

編集者から

5 月の第 1 号より情報科学部での話題を取り上げてくださいますが、学院の取り組みやお子様の様子についてご参考になりましたでしょうか。ご家庭での話題に取り上げていただけましたら幸いです。

今回の 8 号で今年度は終了となりますが、次年度も「情報科学部だより」は継続して参ります。

教頭 中山 幹明